

# 2011年はご降臨55年

## 瀬戸毘沙門天王

38号

平成22年12月20

瀬戸毘沙門天王  
事務局瀬戸町山根

TEL 090-3881  
-8629

### 初詣は瀬戸毘沙門天王へ

瀬戸毘沙門天王さまは天界からご降臨されて五十五年になります。私が高校一年生の夏でした。私の古い家の二階におまつりし始めました。これで我が家も良くなると心が躍ったことを覚えています。しかし、そんなに現実には甘くありませんでした。生活は前と変わらず家計は左まいでした。

一浪して家にいると借金とりが毎日きて、必ず返すからという母の会話を聞きながら受験勉強をしたことを思い出します。

そのような中、祖父松原天撰大権現は「雑草になれ」といわれました。雑草のごとく踏まれても 踏まれても「芽」を出していく生き方を教わりました。現在があるのも毘沙門天王さまのおかげと祖父の力づよい教導によると思います。このご恩に報いたいと頑張っています。

### 八月十六日(日)お火焚き祭

午前十一時



### バレテ峠で慰霊祭



十二月十六日

### バレテ峠で慰霊祭

昭和十九年十二月フィリピンルソン島に移動。昭和二十年二月敵と遭遇。激戦の末岡山出身の歩兵第十連隊がプリンカンで全滅。連隊の九十二%の二千九百四十二名が戦死。その遺族の吉岡さんが参拝されました。

吉岡さんの父奥山仁士は六月二十日飲料水がなくなり戦死。(西大寺の生存者より)。

太平洋戦争開戦後には関東軍の直属兵団として、佳木斯に駐屯していた。満州国内にて対ソ戦の訓練や抗日パルチザン掃討等の治安維持活動に従事していた。

一九四四年(昭和十九年)二月から師団の一部が米軍の進行に備えるため太平洋方面に配置され、同年11月には師団主力も南方派遣が決定された。当初は、台湾に配される予定であったが風雲急を告げるフィリピンルソン島に投入、尚武集団隷下部隊としてバレテ峠、サラクサク峠で約半年に渡る持久戦を展開、衆寡敵せず壊滅状態となり、そのまま終戦を迎える。

### サラクサクでの慰霊祭



毎月第一日曜日十一時

月並み祭&カラオケ練習会